



津南中等教育学校 同窓会報

第5号
発行者
津南中等教育学校
同窓会
Tel. 025-765-2062
印刷 津南印刷商事



同窓生の皆さんへの挨拶

五期生 幹事長

古川 萌我

同窓生の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。私はそれなりに大学生活を楽しんでいきます。本年度の同窓会総会には都合により出席できませんでしたが、出席していただいた皆様、本当にありがとうございました。同窓生の皆様にとって有意義な会合となった事と存じます。

既に書くことが尽きたので近況報告をしたいと思います。

現在私は富山大学に通っています。富山市内には路面電車が走っていて、市内の移動には不便ありませんがそろそろ車かバイクの免許を取りたいなと思っています。また、北陸新幹線が出来たので東京や金沢にも行きやすくなりました。

大学では自分のやりたいことを生業にできるため高校生の時より机に向かう時間が増えた気がします。大学の授業は高校時代に比べ専門性の高く、基礎の重要性を再認識しました。特に英語に関しては基礎が全く出来ていないので授業についていくのがやっとですが、語学の単位を落とすわけにはいかないのでどうにか首の皮一枚で耐えています。理系科目に関しては単純に高校の発展系というわけでないため、一筋縄では行きません。専門科目の難し

さは高校時代とはまた違ったものがあります。

高校時代は卓球部でしたが大学に來てからは競技スキー部に入りました。自分でも信じられませんが体力勝負の部活に入部したのは入学当時の気の迷いだと思います。もうすぐ青森に一週間の遠征があるので体調を整えて結果を出したいです。

最後になりますが、大学生となり責任ある行動を求められるようになった今だからこそ高校時代に多くの友人に助けられていたことを実感します。次回同窓会で多くの同窓生の皆さんに会うのを楽しみにしております。



■みんな雪のおかげ

津南中等教育学校 校長 遠間 春彦

同窓生の皆様におかれましては、お元気で御活躍のことと思います。

日頃より本校の教育活動に物心両面にわたり御支援をいただき、感謝申し上げます。この三月には第六期生が入会します。新入会員をどうぞよろしくお願いいたします。

新潟県での大雪が全国ニュースになるたびに、必ずといっていいほど、津南町の積雪量が報道されます。ふるさとを離れて生活している皆様にとっては、懐かしさを覚えるニュースではないでしょうか。こうした報道により、津南町といえば「雪」ということが全国的にも広く知られるようになりました。

昨年九月にニューグリーンピア津南で開催された「公共政策フォーラムin津南」のテーマは「みんな雪のおかげ」でした。全国から十四大学十八チームが参加して、雪国津南の地域活性化策を議論しあいました。私も聴講させてもらいましたが、斬新なアイデアが多く

発表されていました。例えば、「癒やされる雪国ー津南ー」(中央大学)や「豪雪地域におけるスノープライドを軸としたまちづくり」(北九州市立大学)などでは、雪の利活用や雪国の文化の素晴らしさにあためて気づかされた思いでした。

本校に通学していた頃は、雪はやっかいなもの、雪国の暮らしは不便なものと感じていても、ふるさとを離れ、冬に雪が積もらないと、なんとなく物足りないような気持ちになっている方も多いのではないかと思います。

私は、いつの日か、皆様がまたこのふるさとに戻ってきて、この雪国の暮らしの良さを全国に発信し、地域の活性化に一役買ってくださいることを期待しています。それは、この地の子どもたちが、「みんな雪のおかげ」により育まれてきたと考えているからでもあります。

同窓生の皆様のますますの御健勝と御活躍を、春間近な妻有の地より祈念しております。



経験値

一期生

石橋 亮太

都内のゲーム会社で働き、もうすぐ一年。ゲームが好きで、ゲームが作りたいくて、念願のゲームクリエイターとなった僕が、新卒として猛烈に感じたのは「経験値不足」でした。

中等を卒業した後、ゲームの専門学校へと進んだ僕は「ゲーム作り」の知識に関して、一般の人よりも多く知っているつもりです。就職活動でも、自分の企画力を売りにして内定を貰っていました。ですが実際に社会人となって、自身の知識不足を痛感させられました。マーケットの知識、社会人としてのマナー、別業界の流行、接客、声

優の名前。仕事で必要な情報から、会社の人とのコミュニケーションとしての情報まで、非常に多くの知識が必要だと思われられました。それまで、ゲームに関する情報以外はすべてと言っているほどシャットアウトしていた僕は、入社後、片っ端から情報を集めました。分からないことはすぐ調べ癖を付けました。恥ずかしがらずに先輩や上司に質問しました。今では仕事をしっかりこなし、社員や先輩、上司から信頼されるようになったと思います。

四月には次の新卒が入り、僕は先輩社員となります。それまでに、今分らないこと、知識の経験値不足をすべて解消しなければなりません。次の「冒険者」が進む、「道しるべ」となるように。

進学して

二期生

笛木 晨

県立津南中等教育学校を卒業してから、四年の月日が流れた。今在学中の防衛大学校も二〇一七年三月に卒業する。今回は、進学してよかったと思うことを述べたいと思う。防大に進学してよかったと思うことは三つある。

一つ目は、自分の価値観・考え方を広げることが出来たことである。防大は、全国から学生が集まってきているため、彼らと出会うことができ、様々な考えに触れることができ、より自分

の価値観・考え方を深めることができた。

二つ目は、自発的に学習するようになったことである。中等にいるときにも自発的に受験勉強はしていたが、防大においては、自分の興味を持ったことを深く学習するようになった。特に、近代史、精密加工については、自分の空き時間を使って学習している。これは、防大の講義は、能動的であるからだと思う。つまり、自分から能動的に行動することが大切だということに気づくことができた。

三つ目は、いかに自分がいままで両親に面倒を見てもらっていたかを自覚することができたことである。防大に進学し親元を離れて、今までの生活環



境が一変し、必要なもの購入、納税、保険、給料等、いままでの人生でしてこなかった、いや、両親に頼っていたことを自分でしなくてはいけない状況になり自覚することができた。

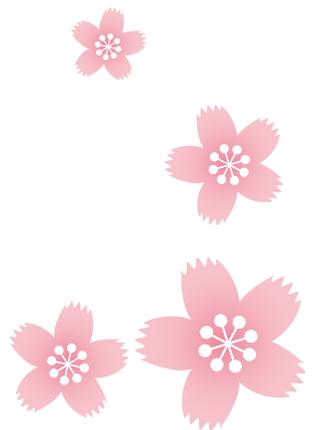
これらのことに対して、通じていえることは、進学するということは、新たなことに挑戦、いままで気づけなかったこと気づけるチャンスであるということである。この防大の四年間で学んだことを活かしていけるように、頑張っていきたいと思う。

就職について

三期生

井ノ川 拓矢

私は津南中等教育学校を卒業し、専門学校を二年通い、現在地元十日町で就職をしています。経緯は専門学校時の公務員試験に落ちたことです。しぶしぶ私は、十日町に戻り就職活動を始めました。しかし大学などの就職活動の時期から何か月もたっているのので、私を雇う働き口はなかなか見つかりませんでした。自宅から通えるところを中心に様々な会社に訪問して面接をしてきました。会社ごとに異なりますが、必要な資格や年齢などの制限がありま



した。私はその項目を満たしていなかったもので、面接をしてただ帰るだけの日々でした。そんな時就業案内の方が勧めてくれたのが今の会社でした。私はすぐ面接を受け、合格通知をもらいました。特に資格などは必要なかったのですが、採用された理由が男手がほしかったからです。それでも私は運がいいほうでした。もうここしか選択肢がなかったんです。後にも引けない中、新入社員的生活が始まりました。

新人研修では基本的なマナーや挨拶の発声練習、電話の対応などを教えてもらいました。この研修を終えて、現在の部署へ配属することになりました。私はここで荷物の梱包をする仕事をしています。毎日毎日同じ仕事の繰り返しですが数か月たっても覚えられないものもあります。そして、もう数か月たつと新入社員が入ってきました。私は先輩という立場になるので、今からでも分からないところをなくし、手本となるような先輩になりたいです。

新しい夢の実現へ

三期生

涌井 落子

「夢の実現」を目標に掲げ受験した今の大学。本当に素晴らしく充実した毎日。そんな楽しい大学生活も、あと一年程で終わります。そして今大学三年生のこの時期に、私は就活生として、再びこの「夢の実現」という言葉に向き合っています。

私は中等にいた時、ALTと仲良くなったのがきっかけで英語が好きになりました。二年から単身で高校生の英語セミナーに参加したり、海外研修でNZに行ったり、沢山英語に触れる中で、「英語を話す仕事がしたい!!」という夢を持ち、国際コミュニケーション学科に進学しました。

大学では英語以外に第二言語で中国語の授業、外国人と一緒に授業を作る授業、異文化を理解するための授業、コミュニケーションスキルを上げるための授業などがあります。普通の人って、こういう英語の授業とか外国人とコミュニケーションをとる授業に、外国や英語との壁を感じてしまう人が多いんじゃないんですが、私は全く壁とかは感じませんでした。それはきっと中等で外国人や英語に触れる環境があったからだと思っています。

私は大学で、外国語以外にもボランティアや大道芸など沢山の事に関わりました。英語を使った仕事という夢のほかにも、人と関わりたい！喜ばせたい！そんな仕事がありました！という新しい夢も見つかりました。「夢の実現」は簡単なことではないですが、中等で頑張っていた時のように、沢山の人の支えられながら、一歩ずつ頑張っていければと思います。

中等での六年間

四期生

福原 芽依

私は、この津南中等教育学校で六年という日々を過ごしました。この六年間は私にとってかけがえのない時間でした。特に部活動は私の中で一番濃い時間を過ごせたのではないかと思います。



私は中高ともバレーボール部に所属していました。中学生のころはとにかく負けても楽しくバレーボールができればいい。練習時間が少ないから負けて当たり前。そんな風に思っていました。しかしながら「愛されるバレー部」「公式戦一勝」という目標を全員が持つことで意識が変わりました。短い時間の中でどのように効率よく練習したらいいか考え、「勝利」という目標に向かい団結力を高めていきました。このようにチームとして強くなっていったと言ってもなかなか勝てず悔しい思いをし、勝ちたいと部員みんなが思うからこそ衝突することもたくさんありました。そしてそんな努力を積み重ねた高校生活最後の試合、私たちのチームは念願の公式戦一勝という目標を達成することができました。このように悔いのない試合が最後にできたのも周りの人たちのおかげだと私は思います。中学高校とバレーボールを続けさせてくれて、一番応援してくれた両親や家族、指導してくださった先生方、この高校バレーボール部の基礎を築き、まとまりのない私たちの代をまとめてくれた先輩方、ついてきてくれた後輩、そのほかにも様々な人が応援してくれたこと、とてもありがたく恵まれていたのだと感じました。これからも、周りの人たちへの感謝を忘れずに過ごしていきたいと思っています。



汰く結ばれる

四期生
春日 結汰

好きな人が周りに居ること。バス停から学校までは五分。学校からバス停までは十分かかっていた。毎日開いていたあの玄関が、今になると重く感じる。体が握られるような寒さでも、なぜかそこへは行きたくなかった。「今日の授業なんだっけな」そんなことを思えばもう辿り着いていた。四十人が入るには、少し小さい教室。そこでは、四十色では表しきれないみんなの色が、複雑に混じり合っていた。ぜんぶ、僕の好きな色だ。好きな色に囲まれた僕は、何色でいられただろう。

『ふとくむすばれる』

これまでの人生とこれからの人生。人は、名前の通りに生きるといふ。本当に出逢いに恵まれている。学校行事を盛り上げた思い出も、人生の目標に



立ち向かった思い出も、もちろん、この家族に出逢えたキセキも今の僕の歯車だ。ありがたいことに、卒業しても連絡をくれる後輩やご飯に連れて行ってくれる先輩もいる。僕はみんなに何を返せるだろう。最近自分らしさについて悩んでいた。しかし、小学生のころの母からの手紙を久しぶりに読んで思った。自分がいつも行動したいときには、仲間がいて、その仲間との思い出を作りたくて、それを形に残したかった。そんなことがこれから何回できるのか。永遠は短い。僕はこの青春をスローモーションで楽しみたい。そうやって、誰かを今日より好きになれる明日を続けていきたい。みんなが大好きだ。

今日も僕の人生は、誰かと汰く結ばれている。

中等の思い出

五期生
桑原 龍弥

津南中等を卒業してから約一年が過ぎ、大学生としての生活にもなれた気がするこの頃、大学からの帰りに高校生、中学生を見るとまた中等生に戻っ

て好きな漫画のことを話しながら友達と飯食べたり、放課後バレーしたり、図書館で本を読んだり、高校生ののりでわけのわからないことをしてふざけたり、部活をまたやったりしたいなどと常々思います。自分でも驚きなのですが、今回この文を書くに当たり、中等の思い出は何が思い浮かぶかなと、考えると体育祭や文化祭、海外研修、東京研修、修学旅行といった中学、高校生活の大きなイベントのことよりも、好きだった授業や友達と話しこと、放課後遊んだこと、部活など、学生生活のなかの小さな出来事のほうが私は鮮明に思い浮かびました。私は前期の時に受けた光海先生の社会の授業がとても好きでした。社会の授業というよりも先生がたまに話す姉（電子さん）の話やその息子さんの話がとても面白く授業の内容より、そっちのほうを今でも覚えています。後期で受けた授業では清水先生の英語の授業がとても楽しかった。特にカップソングをクラスのみんなで作ったことはいい思い出です。

中等生当時は、修学旅行、海外研修、文化祭、体育祭といった大きなイベントに魅力を感じています。しかし今こうして当時の記憶をふり返ってみるとなんでもないような、日常のほうにこそ思い出の価値があったのかもしれないですね。





変化の年

五期生

斎木 花称子

つい先日、私の通う大学の入学試験が行われました。あれからもう一年が経ったと思うと感慨深いです。

この一年を振り返ってみると、これまでで一番変化があった年だと思いません。

まず一番大きな変化は、独り暮らしを始めたことです。最初の頃は自炊が楽しく、他の家事もなんとかやっていました。段々と忙しくなるにつれて家事が負担になりました。実家で暮らしていたときに、いかに自分が親に頼っていたかを痛感しました。独り暮らしには友人を家に好きに呼べるなど楽しい面もありますが、なによりも帰って来ても部屋が真っ暗で寒いことが辛いです。

次に思い浮かぶ変化は、人間関係の変化です。私は今、宮城県仙台市で暮らしています。他の五期生は関東圏で暮らしている人が多いため、今までの友達に会う機会はほとんどありません（瀧澤優威さんとは同じ大学なので時々キャンパス内で遭遇しますが）。知らない土地で友人ゼロの状態からのスタートでした。私は初対面の人と話

すことが苦手なので少し苦労しましたが、勇気を出して積極的に話しかけに行くことよって今では様々な人と仲良くなりました。中等までの友人は、同年代かつ同じような環境で育った人がほとんどでしたが、大学では本当に多種多様な友人ができます。様々な出会いを通して新たな価値観を知り、今まで自分は狭い世界にいたのだなと思えました。

挙げればきりが無くなりますが、様々な出来事がありとても充実した一年間でした。ただ、留学と大きな旅行ができなかったことが心残りです。来年は変化が起きるのをただ待つのではなく、積極的に自ら行動していきたいと思えます。

自問

五期生

若井 彩乃

二〇一六年春、私は県内の造形大学に進学しました。

入学当初、とにかく何もかもうまくいくことだけを考えていた私は、理想と現実のギャップや、周りとの差、六年間共に過ごしてきた五期生への思い（五期生ロス）等で打ちのめされていました。道を歩いている中高生を見た

だけで、羨ましさ、あの頃にはもう戻れない、という事実が号泣する程です。ちょっと気持ち悪いですね。

好き勝手に想像していたものが、全く異なる形となって現れたことで、不安になり、弱気になり、変わることに綺麗に過去にしがみついていたのだと思います。

そんな状況を打破したのは、もう一度考える、というとてもシンプルな行為でした。

何を得たくてこの大学に入ったのか。どんな自分になって卒業したいのか。改めて考えてみると、今、何をしなくてはいけないのかがはつきりし、前を向いて頑張るしかないんだ、という気持ちに切り替わりました。

現在は、様々なことを経験し、学び、制作する、という流れを大切にしつつ、充実した大学生活を送ることが出来ています。

今度も、不安に苛まれることがあるかもしれませんが。その時は、何度でも足元を見つめ直して、前へと進んでいきます。



津南の 学生生活を経て

五期生

瀧澤 優威

日に日に強くなっていく太陽の日差しが仙台の雪を溶かし春を感じられる頃となりました。

昨年津南中等を卒業した私ですが、今大学一年生の授業がすべて終わりあともう少して後輩が入ってくることを考えると高校卒業後からの一年があったという間感じられます。

私は現在仙台の地で材料工学を学んでいます。友人にも、環境にも恵まれ好奇心の赴くままに様々なことに挑戦しています。

思い返せば大学に入ってから津南で過ごした思い出に浸ることが何度かありました。

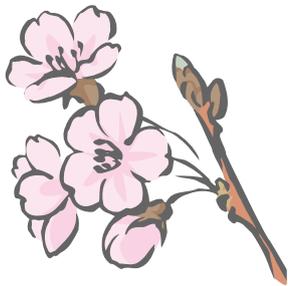
夏休みに奨学金をもらい三週間マレーシアへ海外留学をしました。津南の学生時代にニュージージーランドに行き、あまり外人と積極的に話せなかった経験があった私は、津南と十日町のポストカードを持っていき津南の膨大な雪の量や河岸段丘について語りました。"Amazing" 多くの人々からそういわれるにつれ、津南の荘厳な自然の下で育ってきた自分を少し誇りに思っ

たものです。

また、大学の講義では多くのゼミの授業を自主的に取りました。座学ではなく一人一人が主体となってプレゼンをして意見交換をする。中等生時代の文化祭や科学部での相手を説得する機会を踏まえて楽しく授業を「作る」ことに挑戦しました。

実は奨学金だけで生活をやりくりするために毎日お弁当を作っています。自分の食事は自分でまかなう！中等生時代の給食・配達弁当さらには両親・先生・地域の方々などに無意識として「過保護」されていたことを強く実感しています。

津南での学生生活を経て、今の自分があります。これからの大学生活、そんな思い出を土台にしながら伸び伸びと過ごしていく所存です。



第5回同窓会総会報告

去る2016年8月12日(金)、第5回目の津南中等教育学校同窓会総会が開かれました。今年度は、昨年同様に会場を中等ランチルームとし、1期生から5期生まで21名の会員の皆様にご出席いただきました。同窓会及び母校の発展のために皆様と意見を交わした結果を報告させていただきます。

第1号議案【平成26年度 同窓会 活動報告】について

第2号議案【平成28年度 同窓会 活動計画(案)】について

第3号議案【平成27年度 同窓会会計 決算報告書】について

第4号議案【平成28年度 同窓会会計 予算(案)】について

→住所不明の会員がいるため、住所確認をする必要があり通信費の増加が挙げられた。

費用を抑えるために、各学年の役員を中心に住所変更の際は中等ホームページから中等へ連絡することを提案。

第5号議案【同窓会役員会 役員】について

→学校や仕事の関係で厳しい役員や一部負担の大きな役員がいるなどの理由により、今後役員を変更の予定。

第6号議案【同窓会 27年度入会費 使用報告】について

→27年度新規会員の入会費を音楽室と美術室のエアコン購入に使用

⇒臨席者賛成多数により、第1～6号議案は可決された。

在校生の活躍 (部活動大会結果等)

【陸上競技部】

前期生

郡市大会

(男子)200 第7位 25秒73 丸山翔太
 (男子)砲丸投 第2位 11m04 丸山翔太
 (男子)砲丸投 第5位 8m53 福崎広大
 (男子)4×100mR 第7位 52秒01 丸山翔太
 村越元汰
 福崎広大
 樋口禎了
 原来夏
 高野倅帆
 山本愛梨
 高野倅帆
 原来夏
 小島弥子
 大塚麻由
 藤野美咲
 樋口香春
 宮内華奈

(女子)走高跳 第1位 1m43
 (女子)走幅跳 第4位 4m42
 (女子)4×100mR 第7位 56秒87

(女子)1年100m 第8位 14秒94
 (女子)1年4×100mR 第7位 1分1秒23

中越地区大会

(男子)砲丸投 第2位 10m85 丸山翔太

四市二郡新人大会

(男子)走高跳 第6位 1m40 富井大翔
 (男子)四種競技 第4位 618点 高野伊吹
 (女子)100m 第6位 13秒70 藤ノ木美咲
 (女子)走高跳 第2位 1m30 小西愛咲
 (女子)走幅跳 第4位 4m17 福原莉子
 (女子)四種競技 第6位 1120点 樋口真南
 (女子)4×100mR 第6位 54秒91 福原莉子
 藤ノ木美咲
 小西愛咲
 小島弥子

後期生

春季中越地区大会

(男子)100mH 第7位 16秒47 青木涼
 (男子)3000mSC 第8位 10分4秒87 福原翔
 (男子)砲丸投 第3位 12m30 風巻光

県総体

(男子)砲丸投 第5位 13m24 風巻光

北信越大会

(男子)砲丸投 第5位 14m18 風巻光

全国総体

(男子)砲丸投 出場予選 29位 13m17 風巻光

県1年生大会

(男子)100m 第3位 11秒17 桑原優斗
 (男子)200m 第2位 22秒15 桑原優斗
 (男子)砲丸投 第6位 9m29 村山零
 (男子)走高跳 第8位 1m65 中澤知之
 (女子)砲丸投 第6位 6m84 関口美輝
 (女子)ハンマー投 第5位 16m02 関口美輝
 (女子)4×400mR 第8位 4分43秒85 関口美輝
 中澤桜紀
 涌井ダニエル
 桑原比菜乃

県選抜大会

(男子)100m 第5位 11秒15 桑原優斗
 (男子)200m 第6位 22秒43 桑原優斗

北信越新人大会

(男子)100m 出場 予選7位 11秒24 桑原優斗
 (男子)200m 出場 予選5位 22秒71 桑原優斗

【野球部】

前期生

十日町市・中魚沼郡大会

津南中等 1-6 吉田・松代・松之山
 5位決定戦 津南中等 4-5 中里

十日町市・中魚沼郡新人大会

津南中等 0-15 吉田・水沢・松之山

後期生

春季新潟県大会

1回戦 津南中等 2-1 新潟商業
 決勝戦 津南中等 3-2 直江津中等
 優勝

春季北信越大会

1回戦 津南中等 0-2 上田高校

夏季選手権新潟大会:

A代表決定戦 津南中等 10-0 十日町松之山
 (6回コールド)

夏季選手北信越大会

準決勝 津南中等 5-6 上田高校

秋季新潟県大会

1回戦 津南中等 4-11 直江津中等
 (8回コールド)

【サッカー部】

前期生

郡市大会

津南中等 0-3 塩沢
 津南中等 0-8 六日町
 津南中等 1-6 大和

郡市新人大会

津南中等 1-0 塩沢
 津南中等 0-9 六日町
 津南中等 1-4 大和

NIFA U-15 中越地区リーグ

9試合中1勝8敗

後期生

春季地区大会

津南中等 0-5 長岡高専
 津南中等 0-4 小千谷西

秋季地区大会

出場せず

【卓球部】

前期生

郡市大会

男子団体 予選リーグ敗退
 女子団体 3位 荒木龍平
 男子個人 ベスト8 滝澤海斗
 ベスト16 丸山ひかる
 女子個人 ベスト8 長谷川楓
 ベスト16 村山愛乃
 ベスト16 古澤向日葵

郡市カデット卓球大会

中学2年女子個人 優勝 増田美海

郡市新人大会

男子団体 予選リーグ敗退
 女子団体 3位
 男子個人 ベスト8 齊木瀬名
 女子個人 優勝 増田美海

県カデット卓球大会

中学2年女子個人 1回戦敗退 増田美海

中越地区新人卓球大会

中学2年女子個人 ベスト32 増田美海

県新人卓球大会

中学2年女子個人 1回戦敗退 増田美海

後期生

春季魚沼地区高校卓球大会

男子団体リーグ戦
 津南中等 1-3 六日町A
 津南中等 3-1 小千谷B
 津南中等 0-3 小千谷西A
 女子団体リーグ戦
 津南中等 2-2 小出

津南中等 0-3 十日町
 津南中等 1-3 小千谷
 津南中等 3-1 六日町

春季中越地区高校卓球大会

男子団体1回戦 津南中等 0-3 中越
 女子団体1回戦 津南中等 0-3 長岡商業

県総体

男子ダブルス 3回戦敗退 高橋・江村組
 女子ダブルス 1回戦敗退 尾身・山本組

秋季魚沼地区大会

男子シングルス 初戦敗退 高橋・樋熊
 女子シングルス 初戦敗退 尾身・古川・山本

秋季中越地区大会

男子団体1回戦 津南中等 0-3 長岡大手
 女子団体1回戦 津南中等 2-3 帝京長岡
 男子シングルス 2回戦敗退 江村郁哉
 女子シングルス 県大会出場決定戦(36位決定)
 2回戦敗退 尾身典香
 古川悠生

【バレーボール部】

前期生

郡市大会

予選リーグ 津南中等 2-0 松之山
 1位通過 津南中等 2-0 中里
 決勝トーナメント
 津南中等 2-0 水沢
 津南中等 2-0 十日町
 優勝 津南中等 2-0 川西

郡市新人戦

予選リーグ 津南中等 2-1 水沢
 1位通過 津南中等 2-0 中里・水沢・松之山

郡市一年生大会

予選敗退

後期生

春季魚沼大会

6位(参加校9校)

春季地区大会

津南中等 0-2 長岡農業

県総体

津南中等 2-1 糸川川白嶺
 津南中等 0-2 新潟青陵

十日町オープン大会

津南中等 2-1 新潟青陵
 津南中等 0-2 K.K.I.G.

秋季地区大会

津南中等 1-2 見附

春季魚沼大会

7位(参加校9校)

【吹奏楽部】

第57回新潟県吹奏楽コンクール

高等学校Bの部 銅賞

【アート部】

体育祭でのパネル作成や文化祭での作品展、演劇発表など積極的に活動しています。

【科学部】

個人研究、文化祭の津南万博、苗場山登山などの活動を行っています。今年度は「なじよもん」から講師を迎え、苗場山麓ジオパークについての勉強会を行いました。